

問1 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？

1. 平安京                      2. 太宰府                      3. 多賀城                      4. 平城宮

問2 九州南部に広がる、水はけが良すぎて稲作には不向きな火山灰質の土地で行われている農業を何という？

1. 林業                      2. 養殖業                      3. 稲作                      4. 畑作

問3 阿蘇山に見られるような、火山の活動によってできた巨大な凹地を何という？

1. 台地                      2. カルデラ                      3. 三角州                      4. 扇状地

問4 九州地方において、経済や交通の中心地として発展しており、政令指定都市にも指定されている福岡県の県庁所在地を何という？

1. 福岡市                      2. 熊本市                      3. 鹿児島市                      4. 北九州市

問5 周囲を陸地に囲まれ、海水が入れ替わりにくいいため、環境保全が強く求められる水域を何という？

1. 閉鎖性水域                      2. 赤潮                      3. 青潮                      4. 富栄養化

問6 長崎県などに見られる、海岸線が複雑に入り組んだ地形で、天然の良港が多く作られる地形を何という？

1. 砂浜海岸                      2. 珊瑚礁海岸                      3. リアス海岸                      4. 海岸平野

問7 筑紫平野などで見られる、水不足を防ぐために網の目状に掘られた水路網を何という？

1. 三角州                      2. 扇状地                      3. 盆地                      4. クリーク

問8 筑紫平野のように温暖な気候を生かして、同一の耕地で一年に二種類の作物を栽培することを何という？

1. 抑制栽培                      2. 二毛作                      3. 近郊農業                      4. 促成栽培

問9 大分県で活用されている、地下の熱を利用して電気を作る発電方法を何という？

1. 水力発電                      2. 地熱発電                      3. 太陽光発電                      4. 火力発電

問10 大分市を中心とする海岸部で見られる、鉄鋼業や石油化学工業が集まった工業地域のことを何という？

1. 京葉工業地域                      2. 大分臨海工業地域                      3. 水島臨海工業地域                      4. 鹿島臨海工業地域

問11 沖縄県のように一年を通して気温が高く、冬でも温暖な気候区分を何という？

1. 乾燥帯                      2. 亜熱帯                      3. 温帯                      4. 冷帯

問12 宮崎県や鹿児島県にまたがる、険しい山々が連なる地域を何という？

1. 木曾山脈                      2. 九州山地                      3. 奥羽山脈                      4. 飛騨山脈

問13 南九州の広範囲に及ぶシラス台地を形成した、自然の大きな現象を何という？

1. 火山活動                      2. 地盤沈下                      3. 風化作用                      4. 地殻変動

問14 鹿児島湾に浮かび、現在も活発な火山活動を続けている有名な火山を何という？

1. 雲仙岳                      2. 桜島                      3. 阿蘇山                      4. 浅間山

問15 1914年の大規模な噴火により、桜島が地続きになった半島を何という？

1. 大隅半島                      2. 能登半島                      3. 房総半島                      4. 紀伊半島

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 太宰府	現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。
問2	答え 4 畑作	この地域では、その土地の性質を活かして、水不足の影響を受けにくいサツマイモ、ダイコン、お茶などの栽培が盛んに行われています。これを総称して畑作と呼びます。
問3	答え 2 カルデラ	阿蘇山は、この過程で形成された世界最大級のカルデラを持つ火山です。カルデラ内には平坦な土地が広がっており、阿蘇市などが位置しています。この巨大な窪みは、長い年月をかけて雨水が溜まったり、火山活動で地形が変化したりすることで今の姿になりました。
問4	答え 1 福岡市	政令指定都市に指定されており、九州の政治・経済・文化の中心的な役割を担っています。特に福岡空港が市街地から近く、交通の利便性が非常に高い点や、アジア諸国に近い立地からビジネスの拠点として重要視されています。
問5	答え 1 閉鎖性水域	このような場所を閉鎖性水域と呼びます。河川から流れ込む生活排水や肥料成分などが蓄積しやすく、赤潮の発生や水質の悪化が起こりやすい特徴があります。そのため、環境を守るためには周辺自治体や住民が協力して汚染を減らす努力が不可欠です。
問6	答え 3 リアス海岸	長崎県の海岸で見られる特徴的な地形であり、入り江が深く入り組んでいます。山が海に落ち込んでいるため平地は少ないですが、入り江は波が穏やかであるため、古くから天然の良港として船の停泊に利用されてきました。
問7	答え 4 クリーク	クリークは、田んぼの間に網の目状に掘られた水路のことです。貯水池としての機能を持つだけでなく、周辺の農地へ水を運んだり、排水を行ったりする重要な農業用水路として利用されてきました。
問8	答え 2 二毛作	二毛作とは、主に夏から秋にかけて水稻（お米）を栽培し、その後の冬から春にかけて小麦や大麦などを栽培する農法のことです。土地を一年中有効に利用することで、農家の収益向上や食糧供給の安定に大きく寄与してきました。
問9	答え 2 地熱発電	地熱発電は、地下から取り出した蒸気のみでタービンを回して発電する仕組みです。環境に優しく、天候に左右されずに安定して発電できる再生可能エネルギーとして注目されています。
問10	答え 2 大分臨海工業地域	大分臨海工業地域は、広大な用地と港湾設備を活かし、鉄鋼、石油化学、造船などの重厚長大産業が中心となっています。この工業地域の発展により、大分県の経済基盤が大きく強化されました。
問11	答え 2 亜熱帯	亜熱帯は熱帯と温帯の中間に位置する気候帯です。沖縄県では、この温暖な気候を利用して、パイナップルやさとうきびなどの熱帯・亜熱帯性作物の栽培が行われています。冬でも霜が降りにくいいため、冬野菜の出荷なども盛んです。
問12	答え 2 九州山地	九州山地は、宮崎県と鹿児島県の県境付近に広がる山脈で、九州の「屋根」のような存在です。地形が非常に険しいため平地が少なく、人々の居住地は主に沿岸部に集中しています。
問13	答え 1 火山活動	南九州のシラス台地は、数十万年前から数万年前にかけて発生した、極めて大規模な火山活動によってもたらされました。その際、地下のマグマが噴き出し、火砕流として広い範囲を覆い尽くしました。この火砕流の噴出物が固まり、長い期間の浸食を経て、現在の特徴的な台地地形が完成しました。
問14	答え 2 桜島	桜島は、かつては島でしたが、過去の巨大噴火で溶岩が流れ出し、大隅半島と陸続きになりました。火山活動が非常に活発で、日常的に噴煙を上げている様子は、この地域を象徴する光景となっています。
問15	答え 1 大隅半島	1914年（大正3年）に起きた大噴火では、凄まじい量の溶岩が流出しました。この溶岩流によって、それまで海峡であった部分が埋め立てられ、桜島は東側に位置する大隅半島と物理的に繋がりました。これにより桜島は島ではなくなった経緯があります。